

にしあいつ

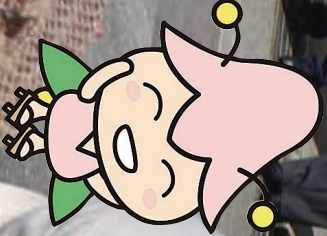
2013

(平成25年)



これからも地域と共に 開業100周年祝う

- P 2～3 健康がいちばん！2013
Inしあいつ開催
- P 4～5 西会津国際芸術村公募展2013から
- P 6～9 わたしたちの町の家計簿
- P 10～11 人事行政運営状況の公表
—平成24年度 決算—



町民参加型健康まつり

健康がいちばん！2013 in にしあいづ

「食のちからでハッピー😊スマイル」



『食』をテーマに多彩に開催！！



町では「健康がいちばん」をキャッチフレーズに、食と運動と健診(検診)を相互に連携し健康づくりを進めています。2回目の開催となる今年度の健康まつりは「食」に焦点を当て、子どもから働き盛りの若者、そして高齢者まで、すべての町民の皆さんがさらに健康意識を高め、健康づくりの実践に役立てられるきっかけになるよう、10月14日に開催しました。

来場者は、食のすすめ講座をはじめ、食育ウルトラクイズ、行事食の試食、各種体験コーナー「食のミュージアム」などの催しを通して食、健康づくりについて学びました。

オープニングでは、伊藤町長が「毎日の食事は生きるための基本です。食について楽しく学び、体験し、日ごろの食生活を再点検して生活が楽しく豊かななる契機にしてください」とあいさつしました。

続いて、食育ぬりえ・ポスター展の表彰が行われ、伊藤町長、町食育推進委員会の渡部定衛委員長からそれぞれ、町長賞、委員長賞などを受賞した児童の皆さんに賞状が贈られました。

町では「健康がいちばん」をキャッチフレーズに、食と運動と健診(検診)を相互に連携し健康づくりを進めています。2回目の開催となる今年度の健康まつりは「食」に焦点を当て、子どもから働き盛りの若者、そして高齢者まで、すべての町民の皆さんがさらに健康意識を高め、健康づくりの実践に役立てられるきっかけになるよう、10月14日に開催しました。

来場者は、食のすすめ講座をはじめ、食育ウルトラクイズ、行事食の試食、各種体験コーナー「食のミュージアム」などの催しを通して食、健康づくりについて学びました。

オープニングでは、伊藤町長が「毎日の食事は生きるための基本です。食について楽しく学び、体験し、日ごろの食生活を再点検して生活が楽しく豊かななる契機にしてください」とあいさつしました。

続いて、食育ぬりえ・ポスター展の表彰が行われ、伊藤町長、町食育推進委員会の渡部定衛委員長からそれぞれ、町長賞、委員長賞などを受賞した児童の皆さんに賞状が贈られました。

健康がいちばん 2013 in にしあいづ



量って当てよう!ご飯・野菜

ご飯や野菜の分量を実際に量って確認。ほかにも体や食を知るための体験コーナーを設置。



食育ぬりえ・ポスター展表彰

オープニングの表彰式では、町長賞を受賞した児童がステージに上がり、一人一人、伊藤町長から賞状を受け取りました。町長賞[敬称略・写真右から]／齋藤光峰(西会津小1年)、若林凜々子(同2年)、西田美妃(同3年)、鈴木爽夏(同4年)、荒明ありさ(同5年)。

行事食「もち」を味わう

食生活改善推進員、食支援ボランティア・エプロンの会の皆さんが、朝から「具たくさんつゆもち」と「きなこもち」300食を調理し、心を込めて来場者をもてなしました。





白雪姫などに仮装し「食のすすめ講座」

上級食育指導士の井上真由美管理栄養士(右)と、同・八代日富美保育士(左)が白雪姫と猫などに扮し、劇を交えながら「食」について分かりやすく講話しました。講座では、カップラーメンの塩分に相当する塩水や食品添加物の試飲なども行われました。二人は最後に「食によって人生が決まると言っても過言ではありません。体に良い食を学び、食べ物を選ぶ力を育てる『食育』をみんなで始めましょう」と締めくくりました。

みんなでラジオ体操

福島県ラジオ体操連盟の作田美代会長、菅野昌子理事を講師に招き、秋晴れの下、ラジオ体操で体をほぐし、心も体もリフレッシュしました。



遊びの広場

遊びの広場のボールプールやエアトランポリンでは、大勢の子どもたちでにぎわいました。



食のバランスコーナー

主食・主菜・副菜の料理カードを使い、よりよい組み合わせを学びました。



「エプロンの会」では活動をPR

食支援ボランティア・エプロンの会の皆さんは、会の活動紹介のほか、食の大切さを食生活改善推進員の皆さんと一緒に笑顔で啓発しました。

クイズの答えは○か×か、食育ウルトラクイズに参加した皆さんは、楽しみながら食育について学びました。

ウルトラクイズで楽しく学ぶ

「食のすすめ講座」は、講師に上級食育指導士の井上真由美氏、八代日富美氏を迎え開催しました。講座では、インスタント食品の味の作られ方やジュース類に含まれる砂糖の量が紹介され、それらを取り過ぎた場合の体調の変化が説明されました。また、豆や野菜など日常の食事に取り入れてほしい食材が紹介され、朝食を取る、ジュース類を控える、よく噛むことなどのポイントを分かりやすく説明しました。

講座終了後には、ラジオ体操、食育ウルトラクイズが開催されました。来町したお笑い集団の「みちのくボンガーズ」がクイズ問題を即興で作って出題するなど会場を盛り上げました。

行事食の試食では地元の食材を使った「もち」を振る舞いました。このほか各種体験コーナーを設置し、来場者は普段の食や健康づくりをあらためて考え、見直す一日になりました。



写真右/ウルトラクイズで最後に勝ち残った皆さんには農産加工品をプレゼント、左下/クイズを笑いで盛り上げた「みちのくボンガーズ」、右下/クイズに挑戦し、当たって喜ぶ参加者の皆さん





ずらりと並ぶ絵画 見つめる学生

ここ数年、公募展への応募が飛躍的に増え、今回も芸術家を目指す学生や美術愛好家の皆さんから多くの作品が寄せられ、旧新郷中の木造校舎は作品で埋め尽くされました。

第8回 国際芸術村公募展2013開催

西会津国際芸術村公募展が10月12日から17日までの6日間にわたり開かれました。開村から10年の節目を迎えた今回の公募展には全国各地から過去最多となる188点の作品が寄せられました。今月は一般の部、青少年の部で大賞を受賞した二人に伺いました。

公募展は、今年もアートの力で多くの方々へ国際芸術村を訪れてもらうことによって、東日本大震災からの復興が図られ、また東北の人たちが元気になることを願って開催されました。会場には応募作品のほか、前回青少年の部で大賞を受賞した柳沼理穂さんの作品や堀尾佐和・造形版画教室の町内参加者の作品が特別展示されました。

表彰式は、12日に芸術村で行われ、伊藤町長が「この公募展は芸術家を目指す皆さんの登竜門のようになってきました。公募展を芸術村事業の核にしながら、交流・復興・活力の拠点となるよう魅力ある芸術村にしていきます」とあいさつしました。出席した受賞者には公募展実行委員会の安藤壽美子実行委員長らから賞状と記念品が贈られました。

続いて審査員を代表し、いわき市立美術館の佐々木吉晴館長が講評として「受賞を逃した作品の中にも強い印象を受けたものが多数ありました。表現力の高い作品が上位に連なりアマチュアのレベルを超えています」と述べました。

表彰式後には、おなじみのチグリハーブがライブを行うなど、秋を彩るさまざまな催しが繰り広げられました。

毎年の出品を楽しみに作品を制作 来年は個展を開きたい

今回で3回目の応募になりました。初めて応募した2011年は京都造形芸術大学大学院を卒業した年であり、東日本大震災があった年でもありました。震災後、私でも何かできることがないか探っていたとき見つけたのがこの公募展で、福島で発表する機会を得られることが私の心に響き、以来応募させてもらっています。

今回の作品は「身体で見る絵画」を主題に制作しました。絵肌は、板の木目をなぞり、その上に色彩を置くことで木目を消し、またなぞっては消し、これを繰り返して画面を作っています。

描くと消えてゆく板の存在がいとしく、かわいそうでもあり、人工的に加工された板の木目から、かつて大地に根を下ろしていた木々の姿が思い返されるように視野に収まり切れない自然の姿まで表現できるか考えながら画面に向かいました。

芸術村公募展には、だんだんと親しみが増し、毎年出品できることを楽しみにしていました。そのような中、今回大賞を受賞できたことは大変光栄です。作品を通して西会津町と交流でき、縁が結ばれたことをうれしく思います。目標としては、来年、個展を開きたいと思っています。



吉田沙織さん

富山県在住。一般の部・大賞を受賞。

会場の模様



チグリハーブのライブ



バザー&カフェも



出席した受賞者みんなで記念撮影

ぬくもりのある芸術村を訪問でき、うれしい また展覧会に出品したい



秋葉沙織さん

県立福島南高校2年。青少年の部で大賞を受賞。

作品は、私の部屋を少しアレンジして「不思議な空間」をイメージして描きました。疲れてベッドに横になると、いつの間にか眠ってしまい、夢の中を旅する私を表現しました。50号の大きなサイズに描くのは今回が初めてで、制作に1年ほどかかったので完成したときには達成感がありました。私が学ぶ福島南高校美術部では、毎年この公募展に出品しており、顧問の先生から今年も開催されることを聞き、昨年に続き2回目の出品になり楽しみに応募しました。

昨年、公募展で西会津町を訪れましたが、山、田んぼ、ソバ畑など素朴で美しい風景が印象に残りました。温かさを感じる木造校舎に今年もまた来られてうれしいです。

今回、まさか大賞を受賞できるとは思ってもいなかったのでも驚いています。これからいろいろ展覧会で作品を鑑賞し、多くの作品に触れながら良いところを吸収し、日々努力して自分の作品を作り上げていきたいと思っています。また展覧会に出品したいと思っています。

わたしたちの町の

家計簿

今月号では9月議会定例会で認定された平成24年度の町の決算の概要についてお知らせします。
 決算で表れる数字は、その年度に町がどのような事業に取り組み、どれだけお金を使ったのか、現在の財政状況はどうか、将来の負担はどうかなどを読み取るため大切な役割を果たしています。

一般
会計

平成24年度の一般会計の決算は、歳入が69億7,943万円（前年度比4・3%増）で、歳出は67億8,940万円（前年度比4・6%増）となり、歳入総額から歳出総額を差し引いた額は、1億9,003万円となりました。

このうち、翌年度に繰り越した事業に5,629万円の財源が必要になるため、歳入歳出差引額から、その翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は、1億3,374万円となりました。また、実質収支から、前年度からの繰越金、町の貯金である財政調整基金への積み立てる自主財源が減額となりました。



歳入

歳入総額は、前年度より2億9,059万円（4・3%）の増となりました。

主な内容は、県支出金では県南・会津・南会津地域給付金給付事業費補助金や、災害復旧事業補助金が増となったほか、ケーブルテレビやインターネット使用料の増、西会津小学校新築事業に係る町債（借入金）の増加などによって前年度を上回りました。

歳出

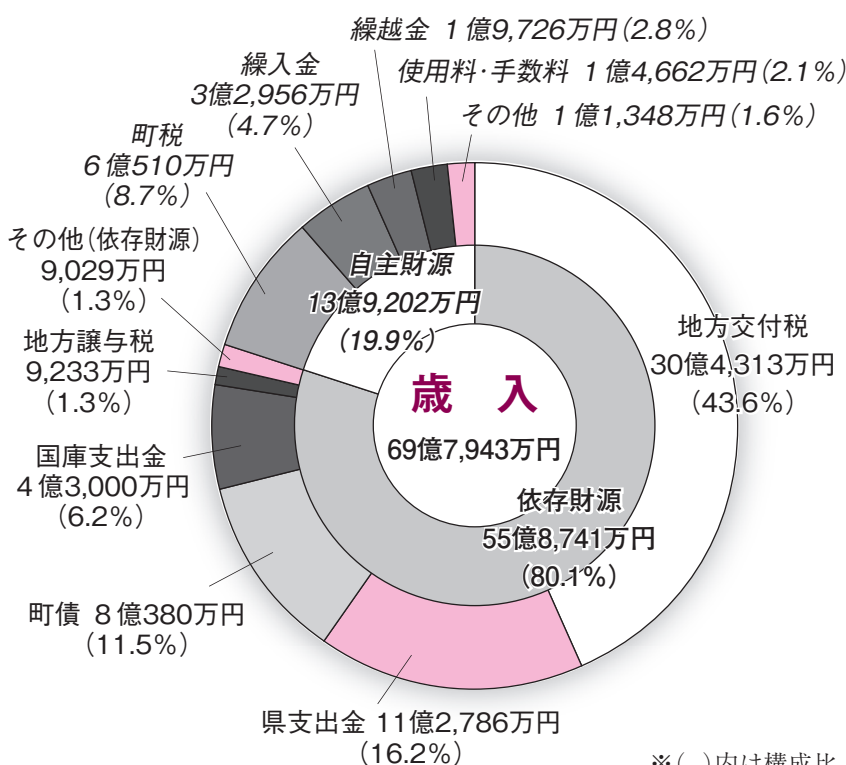
平成24年度の歳入決算の特徴は、前年度と同様、福島第一原子力発電所事故や新潟・福島豪雨災害の復旧・復興、さらには風評被害対策への補助金など国や県から交付される依存財源が増加しました。一方で財政調整基金（貯金）の取り崩しによる繰入金など、自主的に収入できる自主財源が減額となりました。

歳出総額は、前年度より2億9,782万円（4・6%）の増となりました。性質別に見ると、義務的経費では、扶助費が震災関連の県南・会津・南会津地域給付金事業が要因で5億10万円

一般会計決算収支の状況

① 歳入総額	69億7,943万円
② 歳出総額	67億8,940万円
③ 歳入歳出差引額 (①-②)	1億9,003万円
④ 翌年度に繰り越すべき財源	5,629万円
⑤ 実質収支 (③-④)	1億3,374万円
⑥ 単年度収支	△ 2,681万円
⑦ 財政調整基金積立金	4億8,583万円
⑧ 繰上償還金	114万円
⑨ 財政調整基金取崩額	2億7,247万円
⑩ 実質単年度収支 (⑥+⑦+⑧-⑨)	1億8,769万円

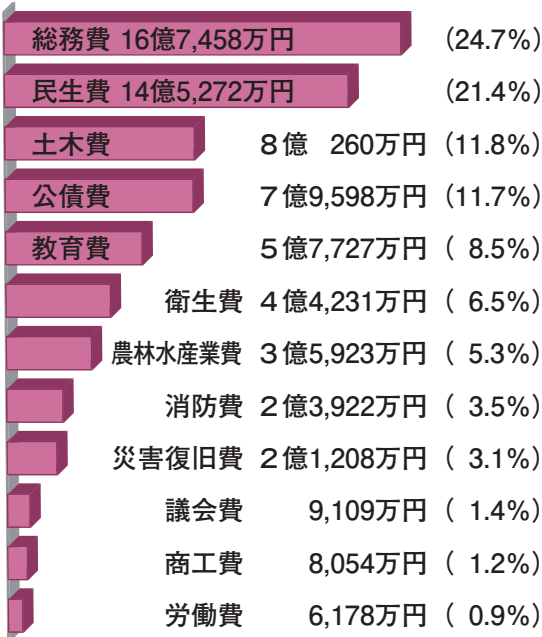
※⑥単年度収支は、⑤実質収支から前年度の実質収支を差し引いた額



※()内は構成比

歳出を目的別に見てみると

※()内は構成比



尾野本保育所祖父母との交流会・ミニミニ運動会

西会津小学校新築事業
「実施設計・用地造成など」
 決算額 2億1,858万円

平成24年度は西会津小学校の新校舎建設に係る実施設計や用地買収、造成工事などを実施しました。

町では約2万6,500㎡の土地を取得し、今年度から本格的に新校舎の建築に着手していきます。新校舎は、平成26年度中に完成し、平成27年4月から新しい校舎での授業がスタートする予定です。

（131・7％）の大幅な増額となりました。一方、人件費は6,983万円（7・1％）の減となりました。

投資的経費では、普通建設事業費が56億1万円（0・5％）の微減で、災害復旧事業費は3,538万円（20・0％）増加しました。

物件費などのその他の経費は、1億7,999万円（5・9％）の減額となりました。

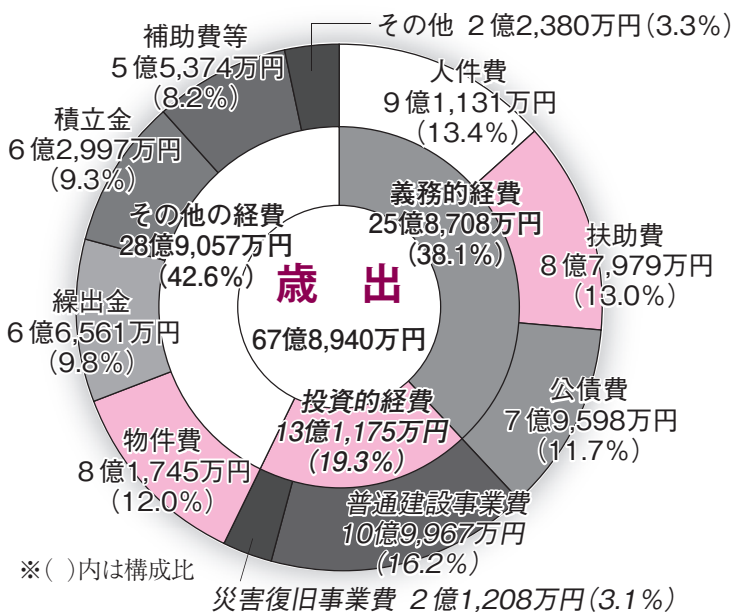
また、目的別に見ると（左上グラフ）総務費が全体の24・7％を占め、次いで民生費21・4％、土木費11・8％、公債費11・7％となりました。

平成24年度に実施した主要事業は次のとおりです。

町道改良事業
「町道改良舗装工事」
 決算額 3億1,287万円

町では、野沢中部と新郷・奥川地区をより短時間で結ぶ「町縦貫道路」などの町道の整備を行っています。

平成24年度は、縦貫道路を構成する野沢柴崎線のほか、冬期の安全な交通確保のため上野尻村中線に消雪パイプを設置するなど、生活道路の改良舗装工事を実施しました。町では引き続き計画的な道路改良を進めていきます。



町民バス運行事業
 決算額 7,157万円

町では、高齢者の皆さんが利用しやすいよう平成24年度から必要ときに予約により乗車できるデマンドバスを導入し運行を始めました。

平成24年度は、野沢・尾野本循環線など従来の定期運行と合わせ、延べ4万4千人が利用しました。今後も一層の利便性向上を図るため、円滑なデマンドバスの運行と、より利用しやすい体制づくりに努めていきます。

町では、各種事業の実施にあたっては、国や県の補助事業や翌年度以降に地方交付税で返済財源が補てんされる有利な地方債（借入金）を活用するなど、できる限り財政の負担軽減を図っています。

平成24年度 一般会計の主な事業

議会費 9,109万円

総務費 16億7,458万円

- ・携帯電話等エリア整備事業 …… 4,224万円
- ・集落支援員配置事業 …… 319 〳
- ・温泉施設管理業務委託料 …… 2,968 〳
- ・さゆり公園管理業務委託料 …… 4,508 〳
- ・ケーブルテレビ高度化整備事業 …… 1億6,062 〳
[線越含む]
- ・衆議院議員選挙費 …… 942 〳

民生費 14億5,272万円

- ・国民健康保険特別会計繰出金 …… 8,588万円
[事業勘定・診療施設勘定]
- ・出産祝金・結婚祝金 …… 575 〳
- ・後継者対策事業 …… 161 〳
- ・介護保険特別会計繰出金 …… 1億5,184 〳
- ・後期高齢者医療負担金・特別 …… 1億6,212 〳
会計繰出金
- ・障がい者福祉費 …… 1億2,074 〳
- ・保育所業務委託料 …… 1億6,894 〳
- ・県南・会津・南会津地域給付金 …… 4億8,418 〳

衛生費 4億4,231万円

- ・子宮頸がん等ワクチン接種事業 …… 386万円
- ・放射性物質検査手数料 …… 200 〳
- ・各種検診委託料 …… 1,655 〳
- ・県被災者健康支援体制整備事業 …… 250 〳
- ・線量計等緊急整備支援事業 …… 202 〳
- ・喜多方地方広域市町村圏組合 …… 4,799 〳
ごみ処理費等負担金

労働費 6,178万円

農林水産業費 3億5,923万円

- ・中山間地域等直接支払事業 …… 8,105万円
- ・放射性物質吸収抑制対策事業補助金 …… 175 〳
- ・青年就農給付金 …… 675 〳
- ・農地・水保全管理支払交付金事業 …… 924 〳
- ・林道岩井沢橋ノ木平線開設工事 …… 1,817 〳
- ・耐雪型パイプハウス整備事業 …… 2,102 〳
- ・放射性物質検査機器購入 …… 326 〳

商工費 8,054万円

- ・街路灯整備工事 …… 1,042万円
- ・消費者行政推進費 …… 317 〳

土木費 8億260万円

- ・除雪費 …… 2億586万円
- ・町道改良舗装工事[線越含む] …… 3億1,287 〳
- ・下水道施設事業特別会計繰出金 …… 1億709 〳

消防費 2億3,922万円

- ・喜多方地方広域市町村圏組合 …… 1億2,937万円
消防費負担金
- ・防火水槽施設[2基] …… 1,263 〳
- ・消防ポンプ自動車購入[1台] …… 1,859 〳
- ・防災行政無線機器増設改修工事 …… 1,449 〳

教育費 5億7,727万円

- ・食品放射能測定機器購入 …… 260万円
- ・スクールバス運行業務委託料 …… 3,204 〳
- ・橋屋遺跡発掘調査事業[線越含む] …… 1,650 〳

災害復旧費 2億1,208万円

公債費 7億9,598万円

特別会計

町では一般会計のほか、10の特別会計と水道事業会計で事業を行っています。

この特別会計等では、上下水道の整備や運営のほか、国民健康保険、国保診療所、後期高齢者医療や介護保険などの運営を行っています。

平成24年度のすべての特別会計等の決算は歳入が31億7,124万円、歳出は30億9,689万円(各特別会計等の決算状況は9ページ右下表)となりました。

商業施設整備事業

町では、交流物産館「よりっせ」を核とした統一感のある商業団地づくり、より誘客を図れる店舗づくりを目的に、平成24年度は、交流物産館よりつせの東側の区画に観光案内や飲食店などのテナントスペースを備えた商業施設を整備するための基本計画を策定しました。

今後はこの計画に基づき産業振興による地域活性化を図るため、町の拠点となる商業施設整備を進めていく計画です。

下水道野沢処理区

下水道管敷設工事

「下水道施設事業特別会計」
決算額 8,025万円

町の下水道は、特定環境保全公共下水道として平成5年から整備を進めています。平成24年度は、芝草地区の舗装復旧工事、堀越地区の下水道管敷設と舗装復旧工事、牧地区の下水道管敷設工事を実施しました。

個別排水処理施設整備工事

「個別排水処理事業特別会計」
決算額 1,994万円

公共下水道や農業集落排水などの集合処理地区以外では、町が保守管理を行う合併処理浄化槽の整備を進めています。

平成24年度は尾野本地区をはじめ、新郷、奥川地区で計16基の浄化槽を整備しました。

国民健康保険 診療所 医療機器購入

「国民健康保険特別会計」
決算額 1,410万円

平成24年度は、地域医療の安定・充実を図るため、西会津診療所、群岡診療所の多機能心電計や血液分析器などを最新の機器に更新しました。

さらに、往診専用の公用車を更新し診療体制の強化にも努めました。

財政の健全化に関する比率

平成24年度決算における財政健全化判断指標の実質公債費比率や将来負担比率は、左上表のとおりで、国が定める基準値を下回っており、前年度より実質公債費比率が0・9%の減、将来負担比率は11・8%減少し数値が改善しました。

この要因は、町債（借入金）を返済金の範囲内で借りるとともに、地方交付税で返済財

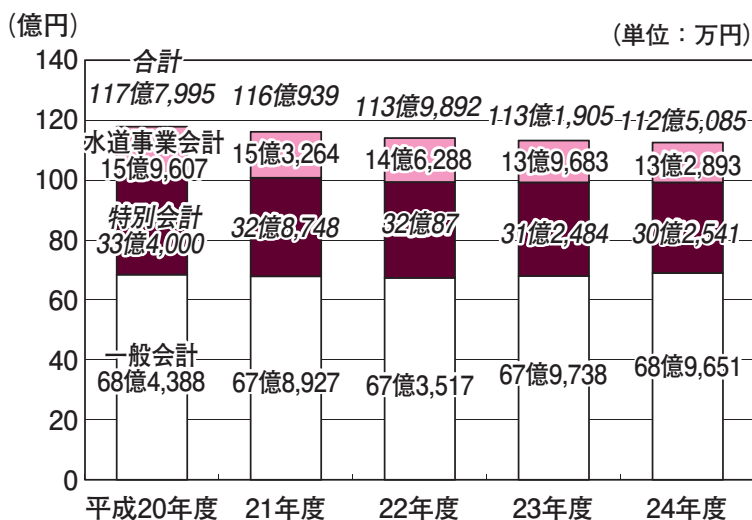
源が補てんされる有利な町債（借入金）以外は極力借り入れを抑制してきたためです。また、町債（借入金）の残高についても年々減少しており、平成24年度末は、112億5,085万円となっております（左下表のとおり）。

しかしながら、自主財源である町税などの減収や、歳入の約半分を占める地方交付税の今後の動向により、財政状況は厳しい状況にあることから、今後も引き続き計画的な町債の借り入れをはじめ、将来負担の抑制、自主財源の確保、事務事業の合理化などに積極的に取り組み、中・長期的視点にたった健全な財政運営に努めていきます。

健全化判断比率

指標	平成23年度	平成24年度	基準値
実質公債費比率 (標準財政規模に占める借入金の返済額の割合)	15.3%	14.4%	25%以上 →早期健全化 35%以上 →財政再生
将来負担比率 (標準財政規模に対する将来の負債の割合)	118.1%	106.3%	350%以上 →早期健全化

年度末の町債〔借入金〕残高の推移



※上記の残高のうちおよそ6割が地方交付税で補てんされるため実質的な町の負担は、4割程度になっています。

基金〔貯金〕の残高

単位:万円

基金名	平成24年度末 残高
財政調整基金	11億8,561
減債基金	112
庁舎整備基金	1億517
ふるさと振興基金	1,071
生きがい福祉基金	1,127
小中学校交流基金	363
土地開発基金	9,174
生活援助貸付基金	1,004
肉用牛特別導入事業基金	719
高額療養費支払資金貸付基金	400
徳沢・上野尻駅簡易委託業務運用基金	300
国民健康保険給付費支払準備基金	1億2,295
介護給付費準備基金	2,489
介護保険財政安定化特例基金	300
下水道排水設備工事費貸付基金	1,271
東日本大震災復興基金	1億5,017

特別会計等 決算の状況

単位:万円

特別会計名	歳入総額	歳出総額	差引額	
工業団地造成事業	2	0	2	
商業団地造成事業	1,696	347	1,349	
住宅団地造成事業	866	713	153	
下水道施設事業	2億1,467	2億1,095	372	
農業集落排水処理事業	1億145	9,923	222	
個別排水処理事業	4,838	4,527	311	
後期高齢者医療	1億92	1億48	44	
国民健康保険	事業勘定	10億7,397	10億2,918	4,479
	診療施設勘定	2億7,771	2億5,877	1,894
介護保険	9億9,481	9億8,447	1,034	
簡易水道等事業	1億410	9,967	443	
水道事業会計	収益的収支	1億5,148	1億3,878	1,270
	資本的収支	7,811	1億1,949	▲4,138

人事行政 運営状況 公表



②職員給与の状況[平成23年度一般会計決算]

職員数(A)	給与費計(B)	1人当たり給与費B/A
100人	54,784万円	548万円

※職員数は一般会計で給与を支出している人数

③平均給料月額など

職 種	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
行政職	334,600円	375,100円	43.4歳

※平均給料月額とは、基本給の平均

※平均給与月額は、給料月額と扶養手当や住居手当などの諸手当の額を合計したもの

④ラスパイレース指数[各年度4月1日現在]

年 度	西会津町	福島県内 町村平均	全 国 町村平均
平成24年度	105.5(97.3)	105.9(97.8)	103.3(95.5)
平成19年度	91.6	95.6	94.6

※ラスパイレース指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の町職員の給与水準を示したもの

※平成24年度の()内は国家公務員が時限的な(2年間)給与改定特例法による給与減額を行わない場合の値

⑤初任給の状況[平成24年4月1日現在]

区 分	西会津町	福 島 県	
行政職	大学卒	175,100円	181,800円
	高校卒	142,500円	146,900円
技能労務職	高校卒	139,600円	155,250円
	中学卒	127,500円	139,800円

⑥手当の状況

◆扶養手当[年額]

内容および 支給単価 (平成24年4月1日現在)	支給実績額 (平成23年度決算)	支給職員1人当 たり平均支給額 (平成23年度決算)
配偶者 13,000円	16,574,000円	230,199円
配偶者以外 6,500円		
16歳から22歳ま での子への加算 措置 5,000円		

今月号では、町職員の人数や給与、勤務条件といった人事行政の運営状況について地方公務員法に基づき、その概要をお知らせします。

1. 職員数など

①職員数の状況[平成24年4月1日現在] 単位：人

職 種	職 員 数
行政職	115
医療職	3
技能労務職	1
合 計	119

※条例で定める職員定数は164人で、45人少なくなっています

②部門別職員数[平成24年4月1日現在] 単位：人

部 門	職員数	部 門	職員数
議 会	3	商工観光課	7
総 務 課	12	農林振興課	10
企画情報課	8	建設水道課	14
町民税務課	13	出 納 室	3
健康福祉課	36	教 育 課	13
合 計			119

③職員の採用および退職の状況 単位：人

職 種	採 用 (H24.4.1)	退職(H23.4.2~H24.3.31)			合計
		定年	勸奨	その他	
行政職	4	2	3	3	8
技能労務職	0	0	0	0	0
合 計	4	2	3	3	8

※町では、平成16年度から業務の効率化、事務事業の見直しなどにより職員数を削減しています

2. 職員の給与など

①人件費[平成23年度一般会計決算]

歳出総額 (A)	649,158万円
人件費 (B)	96,484万円
人件費率 B/A	14.86%

◆期末・勤勉手当[平成23年度]

期末手当	勤勉手当	1人当たりの平均支給額
2.55月分	1.35月分	1,384,850円

※職制上の段階などによる加算措置として、役職加算で5～15%を加算しています
 ※年間3.90月分を6月と12月の2回に分けて支給
 ※国の支給割合は期末手当2.60月分、勤勉手当1.35月分

◆退職手当[平成24年4月1日現在]

区分	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	23.50月分	30.55月分
勤続25年	33.50月分	41.34月分
勤続35年	47.50月分	59.28月分
最高限度額	59.28月分	59.28月分

⑦特別職の報酬など[平成24年4月1日現在]

区分		給料月額等
給料	町長	364,500円 (729,000円)
	副町長	612,700円
報酬	議長	265,400円
	副議長	216,900円
	議員	195,000円
期末手当	町長	2.90月分
	副町長	
	議長	
	副議長	
	議員	

※給料および報酬の()は、減額措置を行う前の金額

3. 勤務時間の状況

◆勤務時間[平成24年4月1日現在]

1週間の勤務時間	1日の勤務時間
38時間45分	7時間45分

勤務体系	開始時刻	終了時刻
通常	午前8時30分	午後5時15分

勤務体系	休憩時間
通常	正午～午後1時

◆住居手当[年額]

内容および支給単価 (平成24年4月1日現在)	支給実績額 (平成23年度決算)	支給職員1人当たり平均支給額 (平成23年度決算)
借家(家賃9,500円以上) 上限 27,000円	3,414,000円	213,394円

◆通勤手当[年額]

内容および支給単価 (平成24年4月1日現在)	支給実績額 (平成23年度決算)	支給職員1人当たり平均支給額 (平成23年度決算)
交通機関利用 月額相当額	7,815,000円	95,302円
自家用車利用 2,700円～ 45,800円		

◆管理職手当[年額]

内容および支給単価 (平成24年4月1日現在)	支給実績額 (平成23年度決算)	支給職員1人当たり平均支給額 (平成23年度決算)
課長職以上 参事～ 44,600円 課長～ 42,300円 主幹～ 29,800円 診療所長～ 150,100円 診療所長代理～ 123,500円	9,060,000円	647,121円

◆寒冷地手当[年額]

内容および支給単価 (平成24年4月1日現在)	支給実績額 (平成23年度決算)	支給職員1人当たり平均支給額 (平成23年度決算)
11月～3月 7,360円～ 17,800円	7,865,000円	66,653円

◆特殊勤務手当[平成24年4月1日現在]

支給実績(医師分を除く)	214,700円
手当支給職員の割合	13.1%
手当の種類	8種類

※この公表は国の統一公表様式に準じて行っているため一部の数値は1年遅れでの公表になっています

奥川みらい交流館オープン

10月1日、奥川みらい交流館のオープン式が行われました。交流館は、町が国土交通省の補助事業を活用し、平成24年度から約5,370万円を投じて旧奥川小校舎を改修し、克雪管理センターの奥川支所、公民館奥川分館、奥川診療所などを移転しました。オープン式では、伊藤町長が「奥川のさらなる活性化につながるよう期待しています。大いに利用してください」とあいさつし、武藤道廣町議会議長、小松一彦県会津地方振興局次長が祝辞を述べました。続いて施設名称「奥川みらい交流館」を考案した三瓶李奈さん(さゆりが丘)に伊藤町長が記念品を贈り、関係者がテープカットを行い、オープンを祝いました。



西会津小新校舎整備の安全を祈願

10月7日、西会津小学校新校舎建築主体・機械設備・電気設備工事の安全祈願祭が森野の建設地で行われました。

町では、事業費12億7,900万円を投じ、鉄筋コンクリート造2階建て延べ床面積4,720㎡の新校舎を西会津中学校の東側に整備します。工事は平成27年1月末の完成を目指して進められます。祈願祭では、伊藤町長と武藤道廣町議会議長らが鍬入れを行い工事の安全を祈願しました。伊藤町長は「町民の皆さんの意見を取り入れ設計を行ってきました。児童だけではなく多くの町民の皆さんが新校舎の完成を楽しみにしています。一日も早い完成をお願いします」とあいさつしました。

伊藤てる子さん文部科学大臣表彰受賞

伊藤てる子さん(6町内)が地方教育行政功労・文部科学大臣表彰を受賞し、10月10日、その受賞報告のため町役場を訪れました。伊藤さんは平成12年10月から12年間にわたり町教育委員会委員として小中学校の統合をはじめ、学力向上対策、学校支援地域本部事業や食育事業の推進などに貢献し、平成22年9月からは教育委員会委員長を務め、町の教育振興、発展に尽力しました。表彰式は10月4日に文部科学省で行われました。

伊藤さんは、「皆様のおかげで受賞でき大変光栄です」と感謝し、報告を受けた伊藤町長は、伊藤さんに祝いの言葉を述べました。



復興支援に感謝 寄贈を受けた「河津桜」植樹

町では10月8日、静岡県南伊豆町、下田市で活動するNPO法人伊豆のせんたんコンシェルジェから、本州では一番早く開花するとされる河津桜の苗木50本の寄贈を受けました。同NPOは「東北に河津桜を!〜伊豆から桜プロジェクト2013〜」と題して一日も早い復興支援を目的に桜の寄贈を行っています。贈呈式はロータスイン脇で行われ、苗木はロータスイン周辺に植樹しました。贈呈式、植樹には町内の桜を眺める会(上野博会長)、にしあいづノルディックフィットネスクラブ(大堀一衛会長)会員のほか町民の皆さんが参加しました。(写真:左から伊藤町長、同NPO・安藤広和副理事長、武藤道廣町議会議長、同NPO・増田健太郎代表)

知って防ぎよう！インフルエンザ

感染予防対策を万全に！！

なぜインフルエンザは怖いのか？

かぜは、のどや鼻に症状が出るのに対し、インフルエンザは頭痛や関節痛など症状が全身に及ぶのが特徴です。軽い場合は、かぜと区別が付きにくいですが、多くの場合は38度を超える発熱、頭痛や関節痛などの症状がほぼ1週間程度続きます。インフルエンザが重症化すると、5歳以下の子どもはインフルエンザ脳症を、高齢者は二次性細菌性肺炎といった合併症を発生し、最悪の場合、死に至る可能性のある注意すべき感染症です。

どのように感染するの？

飛沫感染— 感染した人の咳やくしゃみから飛び散るウイルスを吸い込んだことによる感染。



空気感染— 感染した人が部屋にいない場合でも、換気の悪い部屋や乾燥した室内の空気中のウイルスを吸い込むことによって感染する。

接触感染— 健康な人がウイルスの付着した机やドアノブ、スイッチなどを触った後、自分の目や鼻、口に触れ、粘膜を通じて感染する。

予防接種を受けましょう！

予防接種は11月1日から来年の1月31日まで医療機関で受けることができます。

高齢者や乳幼児、また持病がある方は重症化しやすいので早めに接種しましょう。

ワクチンを接種し、効果が出るまでには2週間ほどかかります。また、ワクチンの効果が持続するのは5カ月程度です。流行が始まる前の12月ごろまでに接種するとよいでしょう。

町では、高齢者等の

予防接種料の無料化、一部助成を行います。対象者は次のとおりです。

【無料化の対象者】

65歳以上の方、60歳以上で身体障害者手帳1級の方
※対象者には保健指導員を通じてチラシや予診票などを送付します

【助成対象者】

乳幼児、妊婦、小中学生、高校生

予防接種は、インフルエンザの発症を防ぎ、感染しても症状を軽くする効果があります。



エチケットを守り、うつさない

◇咳やくしゃみの症状がある場合はマスクを着用しましょう。



◇周りに咳などをしてしている人がいる場合はマスクの着用を勧めましょう。

◇咳やくしゃみをするときは、ティッシュペーパーなどで口、鼻を押さえ、ほかの人から顔を背けましょう。できれば2m以上離れましょう。

◇鼻水や痰はティッシュペーパーに出し、ふた付きのごみ箱に捨てましょう。



日常生活での予防対策

外出時は人込みを避け、マスクを着用し、帰宅後には手洗い、うがいをしましょう。



【食事】 バランスの良い食事を取り、体力を落とさない。意識して水分を補給する。

【環境】 室温20度前後、湿度は50〜60%に保つ。

【睡眠】 十分な睡眠で疲れをその日のうちにとる。

【運動】 適度な運動で抵抗力を上げる。

【禁煙】 禁煙し呼吸器粘膜を正常に保つ。インフルエンザの感染を防ぐため一人一人ができることから実践しましょう。

【問い合わせ先】 健康支援係 ☎45-4532

すくいな〜むし歯のなご子
9月25日、3歳児9名を対象に健康診査を行った結果、むし歯のない子は7名でした。



長谷川 莉子ちゃん(西林東)



齋藤 煌介くん(尾登)



鈴木 敬太郎くん(芝草)



小林 奏月くん(9町内2)



石井 心瑩ちゃん(戸中)



渡部 昊くん(上小島)



野原 陸くん(上小島)

味がよく染み込んだ おかず&おつまみ

たたき ゴボウの ベーコン いため

4

材料 (2人分)

ゴボウ	小1本	150g
ベーコン	3枚	50g
オリーブ油	大さじ½	
塩	小さじ¼	
粗びき黒こしょう	少量	
パセリみじん切り	大さじ1	

作り方

- ①ゴボウは皮をこそげて、すりこ木などで、たたいて割り、5cmほどの長さに切って水に5分ほどさらし、ざるに上げて水気を切る。ベーコンは2cm幅に切る。
- ②フライパンにオリーブ油を入れて熱し、ゴボウを入れてふたをする。
中火で、ときどきふたを開けて混ぜながら約3分蒸し焼きにする。
- ③ベーコンを加え、さらに2〜3分いため、塩、黒こしょうを振る。
最後にパセリのみじん切りを加え、いため合わせて出来上がり。



チャレンジ!!

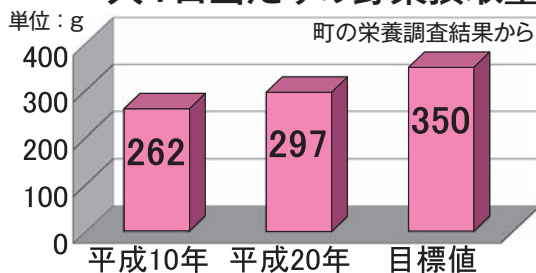
シリーズ

食育

● ゆっくり、よく噛んで味わう
実りの秋、たっぷり野菜で
食べ過ぎを防ぐ



一人1日当たりの野菜摂取量



野菜が1皿分(約70g)
まだ足りないよー。



野

葉がたっぷりの食卓は、彩りや栄養バランスが良くなります。また、野菜は歯応えがあり、よく噛むことにつながります。ゆっくり、よく噛むことで満腹中枢が刺激され食べ過ぎを防止します。さらに野菜はカロリーが低いのも魅力です。この時期は、おいしい食べ物が豊富です。旬の野菜を積極的に取り入れ、野菜でポリウムを出し、おなかもちも満足させましょう。

野菜の力は無限大!!

野菜は栄養素が豊富で、次のように生活習慣病の予防につながります。

野菜の効果 その1

血圧の安定に役立つ

野菜に含まれるカリウムはナトリウム(塩)を体の外に出す働きがあり、これにより血圧の上昇を抑え循環器病の予防に役立ちます。

野菜の効果 その2

がん予防に役立つ

発がん物質の生成を抑える抗酸化ビタミンの一種、ビタミンCが豊富です。

野菜の効果 その3

腸の働きを助ける

食物繊維が腸を刺激し、スムーズな排便を促します。

スポーツの秋

各地区で球技大会開催

10月6日に野沢町内親善ソフトボール大会、同バレーボール大会を、それぞれさゆり公園多目的広場、同体育館で、群岡地区ソフトボール大会を旧群岡中グラウンドで開催しました。

また、10月12日には新郷地区グラウンドゴルフ大会を旧新郷小グラウンドで開催し、各大会で熱戦が繰り広げられました。結果は次のとおりです。

野沢ソフトボール大会

- 優勝 堀越
- 準優勝 10町内
- 第3位 9町内・芝草

野沢バレーボール大会

- 優勝 芝草
- 準優勝 堀越
- 第3位 1町内・8町内

群岡ソフトボール大会

- 優勝 上野尻A
- 準優勝 上野尻C

新郷グラウンドゴルフ大会〔敬称略〕

- 一般の部
 - 優勝 伊藤 武雄(呼賀)
 - 準優勝 上野 新平(呼賀)
 - 第3位 五十嵐照子(原)
- 小学生の部
 - 優勝 高橋 由輝(樟山)



▲野沢町内親善ソフトボール大会



▲野沢町内親善バレーボール大会

第7回 市町村対抗県軟式野球大会 優勝候補に惜敗

第7回市町村対抗軟式野球大会が福島市のあづま球場を会場に開催され、9月22日の1回戦に西会津町チームが出場しました。対戦相手は、過去に優勝1回、3位2回の強豪で、今大会優勝候補の一角に挙げられた西郷村でした。

試合は、西会津町が3対2でリードして迎えた最終回、2アウトから逆転され3対4で惜しくも初戦を突破することができませんでした。

敗れましたが西会津町は7安打、西郷村3安打と打線は優勢でした。選手たちは強豪相手に善戦し自信を強めたようでした。



▲力投した三留怜央選手

公民館で「通学合宿」 自分たちで買い物、調理



10月9日～11日、小学6年生を対象に2泊3日で通学合宿を開催し、24人が参加しました。

通学合宿は、町公民館に宿泊し、食事の準備や掃除など、家庭での生活を班ごとに協力しながら行い、学校に通うものです。参加した児童は予算内での買い物や調理などに挑戦し、特に食事の準備に苦勞していました。

児童たちは「お母さんの大変さが分かった」「もっと手伝いをしたい」などと感想を述べました。



町民バトンタッチ

こまた しょうこ
古侯 翔子さん [芝草]

い がらし みゆう
五十嵐 美優さん (10月号から) メッセージ

これからも親子ともどもよろしくお願ひします。翔子ちゃん大好き!

あなたの趣味は?

スノーボード、寺巡り

特技は?

バレーボール

熱中していることは?

パワーストーンのプレスレット作り

自分を一言で表現するとしたら?

お調子者

最近感動したことは?

小さな子どもに花のプレゼントをもらったこと

あなたのモットーは?

いつも素直!いつも笑顔!

これからやってみたいことは?

外国に行ってみたい

次の方を紹介してください

A・Oさん (1町内)

「J・Aに勤めていた時の写真」
「J・Aでの出会いは私の宝物。
いい仲間巡りに巡り合いました」



町民 ギャラリー

公民館講座さゆり中学

「さゆり中学」受講生の作品

古里へ夢はもみじの縦貫道
買物は金木犀の風と行く
木犀のほひただようわがやかな
赤とんぼ我がもの顔に空を行く
おいおい月が出たよと孫を呼び
空家にコスモス咲きて村閑か
七十路来て雪の深さを案じけり
孫帰る枝豆ザルに一直線
孫の目の輝く先の鬼ヤンマ

渡邊 豊博 (さゆりが丘)
星 多恵子 (九町内二)
渡邊カオル (さゆりが丘)
武藤奈美恵 (上小島)
佐藤鬼子夫 (上小島)
井上 洋子 (さゆりが丘)
尾崎 サト (さゆりが丘)
佐藤タミコ (上野尻)
白井 重子 (白坂)

聞いて! わたしの夢

ここでは西会津中学校の生徒の皆さんに、自分の思い描いている夢や目標などを話していただいています。

今日は、3年・サッカー部前部長の古川成吉さんです。



わたしの夢——

「僕が将来なりたいと思っている職業は消防士か警察官です。そう思うようになったきっかけは、ニュースや新聞で交通事故や殺人、火災などがよく報道され、たくさんの人が亡くなったり、けがを負ったりしているため、多くの人の命を救える仕事に就きたいと思ったからです。だから他人への思いやりを持ち、間違いを指摘できるような大人になりたいです」

努力していること——

「ジョギングや縄跳びなどでの体力づくり、また相手が不愉快な気持ちになるようなことはしないで優しく接するように心掛けています」

最後に未来の自分に一言——

「自分の将来の夢に向かって、あきらめず努力し、誰にでも信頼されるように頑張ってください。応援しています」

まちの人口 ～10月1日現在～ (前月比)

人口	7,311人	(-22人)
男	3,511人	(-9人)
女	3,800人	(-13人)
世帯	2,777世帯	(-6世帯)

戸籍の窓口 ～9月受付分～ 〈敬称略〉

お誕生おめでとう

江川 空良くん 正樹・友子 西原
佐藤 ありすちゃん 和也・由香 西林



ご結婚おめでとう

佐藤 大地 極入
土田 彩夏 山形県新庄市



お悔やみ申し上げます

渡部 新一 (84)	サイ	夫	3町内
橋谷田 満江 (87)	豊	父	6町内
廣島 勝 (70)	セツ子	夫	7町内
齋藤 ミナ (97)	ヤヨイ	母	堀越
伊藤 司穂 (85)	兵衛	父	安座
齋藤 弘子 (76)	一徳	母	森野
渡部 清治 (84)	峰明	父	黒沢
目黒 護 (83)	豊子	父	牛尾
福地 チヨ (89)	勝吉	母	高目
佐久間 キミ (85)	静子	母	新町
五十嵐 ツメ子 (79)	一	妻	中ノ沢



健(検)診後の受診はお済みですか

働き盛り健(検)診や総合健(検)診で「要医療」「要精検」のはがきが入っていた方は、早めに医療機関を受診しましょう。

はがきが入っていなかった方も検査結果をよく確認し、より健康になるため生活習慣を改善していくことが大切です。

健康支援係では健康相談を行っていますのでお気軽に相談ください。

【問い合わせ先】健康支援係 ☎45-4532

地域ネットワークリーダー研修会
開催のお知らせ

町では、高齢化率が40%を超え、およそ1,000世帯が高齢者だけの世帯になっています。今回、高齢化が進む中で町民自らが知恵を出し合い工夫を凝らし、地域見守りネットワークやサロンなど、地域で支え合い活動を行っている町内の事例紹介を交えた「地域ネットワークリーダー研修会」を開催します。聴講は無料で、どなたでも参加できます。ぜひ来場ください。

- ◆日時 11月22日(金) 午前10時40分～
※自治功労者表彰式・自治区長大会・納税貯蓄組合長大会の終了後に開催
- ◆会場 町公民館 大ホール
- ◆内容 ◇「町の高齢化の実情とこれから」
◇「地域見守りネットワーク活動・サロン活動について」
◇事例紹介
地域見守りネットワーク「須刈ネットワーク」
サロン活動「小山サロン」

お知らせ

食品と放射能に関する説明会

- ◆日時 11月26日(火) 午後2時～4時
- ◆会場 交流物産館よりっせ
2階 研修室

◆説明会内容

- ◇講演
演題 「食品中の放射能と人体への影響」
講師 筑波大学教授・アイソトープ環境動態研究センター長 松本 宏氏
- ◇説明
内容 「食品中の放射性物質の基準値」
説明者 消費者庁消費者安全課
課長補佐 石川 一氏
- ◇その他 放射能簡易分析装置の取扱説明、分析結果の説明を併せて実施します。入場は無料で、どなたでも参加できます。

【問い合わせ先】商工観光課 ☎45-2213

以下は広告です。内容については、広告主へお問い合わせください。

有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

- ◆大きさ 1枠当たり縦4.0cm×横8.5cm
- ◆掲載料 1枠当たり5,000円/月

【問い合わせ先】

企画情報課・広報広聴係 ☎45-4536

地域を支え続け 野沢駅が100歳

大正2年8月に岩越線(現・磐越西線)の山都—野沢間の延伸開業により野沢駅が新設され、今年、開業から100年がたちました。野沢駅は、観光客とりわけ大山祇神社参拝者の玄関口として、また通学、通院といった生活に欠かせない駅として地域と共に長い歴史を刻んできました。10月13日には祝賀セレモニーのほか、大山路タイムスリップウォーク、宿場文化まつりなどが同時開催されました。

こゆりちゃん
トピックス



写真上段：右／岩越線の開通を祝う当時の野沢中央通り原町付近、中央／野沢駅開業当時の駅前、左／長谷川橋梁を通過する第一号列車[写真提供＝渡部キイ子さん(黒沢)]

中段：右／野沢駅から観光名所を巡り西平のロータリー車展示場を目指して歩いた大山路タイムスリップウォーク、左／祝賀セレモニーで「こゆりちゃん音頭」を披露した町内保育所子どもたち

下段：右／セレモニーであいさつする伊藤町長、中央／セレモニーに出席した皆さん、左／タイムスリップウォークでガイドを務めた野沢駅通り商店会の皆さん

今月の表紙

今年8月1日に開業100周年を迎えたJR野沢駅。

これを記念し10月13日、祝賀セレモニーが駅前広場で行われました。セレモニーでは伊藤町長が「鉄道の魅力の再発見につながるよう、多くの皆さんに野沢駅を利用してもらいたい」とあいさつ。関係者がくす玉を割って世紀の節目を祝いました。



広報にしあいづ
2013(平成25年)

11月号

発行：西会津町 編集：企画情報課
☎0241-45-2211(代表)
info@town.nishiaizu.fukushima.jp
http://www.town.nishiaizu.fukushima.jp/



この広報紙は、環境に優しい大豆油インキを使用しています。